

主催事業紹介

「小林公民館見学デー ～4つの謎を探れ！～」

8月24日（木） 参加者 11人

ふだんは見ることのない小林コミュニティプラザ（小林公民館）の内部を見学し、主催事業の体験をしてもらうことで、公民館に親しみを持ってもらうことを目的に、昨年度から小林公民館見学デーを開催しています。今回は4つの謎をテーマに見学をしました。



一つ目の謎は駐車場北側にあるコンクリートの建物です。扉には「電気室」と書いてあります。何が入っているのでしょうか？

扉を開けるとみんなびっくり！屋根がありません。ここは四方を壁で囲み、中には高い電圧（6,600ボルト）を小林コミュニティプラザ内で使う低い電圧に変えるための変電機（キュービクル式高圧受電設備）があります。その横には館内の火事の際に

大地震などで電気が止まってしまっても消火栓を使えるようにするための自家発電装置（二つ目の謎）があります。

三つ目の謎は真っ赤な機械です。ふだんはどこを探しても目にすることはありませんが、この機械は館北西のポンプ室の中にあるポンプです。火事の際はこのポンプで館内の消火栓へ水を送り、初期消火を行います。



四つ目の謎は細長い階段です。階段は屋上へ続いています。屋上への小さい扉（約50cm×60cm）をくぐって屋上へ出ると予想以上の高さにみんなびっくりしていました。

写真では交番の近くの横須賀橋が見えています。

そのあとは調理室を見学し、200人を収容できるホー

ルへ行きました。ホールは音楽や体操などさまざまな活動をするサークルがたくさん利用しています。ここで小学生の通年事業「ジュニア☆プレイス」第1回で行ったドラムサークル（打楽器を使ったコミュニケーション促進のリズム遊び）をみんなで楽しんで公民館見学デーを終えました。

